1 コントラクションストレステスト（CST）の**禁忌でない**のはどれか。
a 切迫早産
b 前置胎盤
c 多胎妊娠
d 帝王切開後妊娠
e 妊娠高血圧症候群

2 世界保健機関<WHO>の任務として**誤っている**のはどれか。
a 保健事業の強化についての技術的協力
b 国際間の伝染病対策
c 国際疾病分類<ICD>の作成
d 災害時の緊急対策
e 開発途上国児童への食料援助

3 女性ホルモン作用のもっとも強いのはどれか。
a エストロン
b エストラジオール
c エストリオール
d プロゲステロン
e プロラクチン

4 救急傷病と応急処置後の転送先の組合せで適切なのはどれか。**2つ選べ**。
a 急性虫垂炎――――――――――――――特定機能病院
b 十二指腸潰瘍穿孔――――――――――――療養病床
c くも膜下出血――――――――――――――救命救急センター
d 広範囲熱傷――――――――――――――高度救命救急センター
e 急性心筋梗塞――――――――――――――休日夜間急患センター

5 中胚葉から発生するのはどれか。
a 皮　膚
b 中枢神経
c 乳　腺
d 肝　臓
e 生殖器

6 正しいのはどれか。
a 黄熱は検疫感染症の一つである。
b 検疫法の検疫感染症は感染症法の１類感染症を全て含む。
c 予防接種法における１類感染症は感染症法の２類感染症である。
d 新型インフルエンザを診断した際は７日以内に都道府県知事に届け出る。
e 免疫不全の診断がなされている者に対しては予防接種を行なってはならない。

7 ステントグラフト内挿術について正しいのはどれか。
a 術前の造影CT検査は必要ない。
b 慢性腎不全症例は治療が不可能である。
c 重篤な合併症のひとつに腎動脈閉塞がある。
d 解剖学的に、すべての腹部大動脈瘤に対して挿入が可能である。
e 瘤径 40 mm以下の小さな腹部大動脈瘤に対して適応となる。

8 分娩の３要素について**誤っている**のはどれか。
a 羊水は娩出物に含まれる。
b 産道は骨産道と軟産道から成る。
c 娩出力とは主に陣痛と腹圧である。
d 骨産道は寛骨、仙骨、尾骨で構成される。
e 陣痛とは 20 分毎の規則的な子宮収縮をさす。

9 正しいのはどれか。
a 学校保健行政は厚生労働省の管轄である。
b 保健所は乳幼児健康診査などの地域的サービスを行う。
c 食中毒に関する疫学調査、細菌検査は地方衛生研究所が行う。
d 児童相談所は乳幼児健康診査で精神面の異常があった場合の相談を受ける。
e 市町村保健センターのセンター長には一定の基準を充たした医師を充てる。

10 他覚的聴力検査はどれか。
a 語音聴力検査
b 純音聴力検査
c 遊戯聴力検査
d インピーダンスオージオメトリ
e ABLB（alternate binaural loudness balance）検査

11 アレルギー反応が原因であるのはどれか。

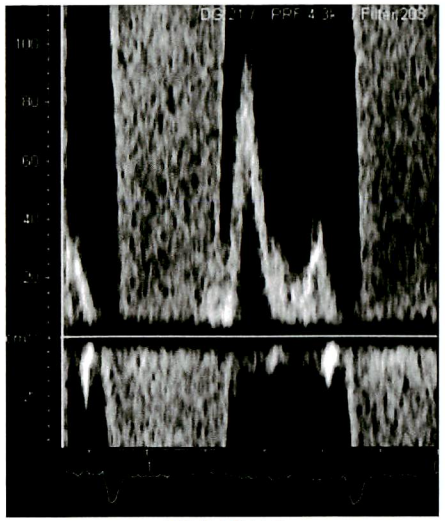
a 悪性高熱
b 悪性症候群
c アスピリン喘息
d 横紋筋融解症
e スティーブン・ジョンソン症候群

12 ICG試験について正しいのはどれか。**2つ選べ。**

a 肝硬変では禁忌である。
b 肝臓の予備能を反映する。
c Meltzer-Lyon法を用いる。
d 黄疸があると正しい値がでない。
e インターフェロン治療の反応性を予測する。

13 心臓超音波検査にて以下のドップラー所見を得た。
考えられる疾患はどれか。**2つ選べ。**

a 大動脈弁閉鎖不全
b 僧帽弁閉鎖不全
c 三尖弁閉鎖不全
d 大動脈弁狭窄症
e 僧帽弁狭窄症



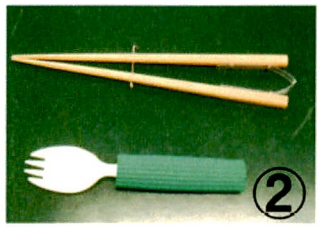
心臓超音波検査

14 脳血管障害のリハビリテーションで通常**用いない**器具はどれか。

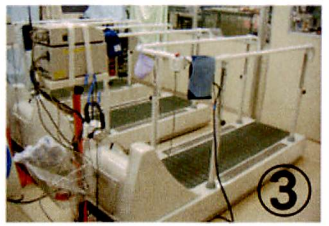
a ①
b ②
c ③
d ④
e ⑤

①

②



③

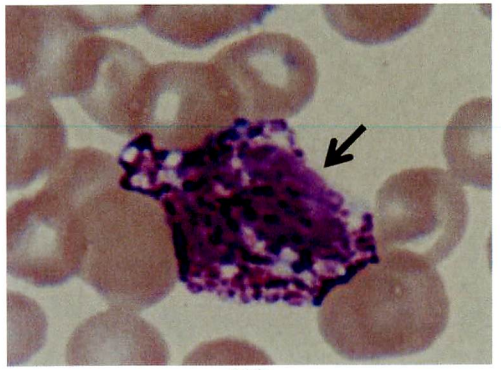


④

⑤

15 写真の矢印で示す血球が増加するのはどれか。

a 糖尿病
b 敗血症
c ホジキンリンパ腫
d 甲状腺機能低下症
e 慢性リンパ性白血病



写真

16 肺拡散能力（DLco）が増加するのはどれか。

a 運　動
b 貧　血
c 肺線維症
d リンパ脈管筋腫症（LAM）
e 慢性閉塞性肺疾患（COPD）

17 血液中の濃度が低下することで意識障害をきたすのはどれか。**2つ選べ。**

a 血　糖
b カリウム
c ナトリウム
d カルシウム
e トリグリセライド

18 菌交代現象の原因として正しいのはどれか。

a 中心静脈カテーテル
b 液性免疫不全
c 顆粒球減少症
d 第3世代セフェム系抗菌薬
e 副腎皮質ステロイド

19 種々の侵襲を誘引とする全身性炎症反応で、SIRS（全身性炎症反応症候群 Sytemic Inflammatory Response Syndrome）の**診断基準でない**のはどれか。

a 血圧 100 mmHg 以下
b 脈拍数増加（90 回／分以上）
c 体温の変動（38 ℃以上、または、36 ℃以下）
d 呼吸数増加（20 回／分以上）または$PaCO_2$が 32 Torr 以下
e 血液検査所見で、白血球数が 12,000/μl 以上または 4,000/μl 以下あるいは未熟顆粒球が 10 %以上

20 母乳栄養児で不足しやすいのはどれか。

a 鉄
b 蛋白質
c 必須脂肪酸
d カルシウム
e ビタミンK

21 妊産婦健康診査で**行われない**検査はどれか。

a 血圧測定
b 体重測定
c 尿蛋白定性
d 子宮底長計測
e 母体心拍数計測

22 わが国の医療保険制度について正しいのはどれか。**3つ選べ。**

a 社会保障制度の一つである。
b 任意加入である。
c 被用者保険本人の医療は 10 割給付である。
d 保険料は概ね所得に比例している。
e 国からの補助がある。

23 自家皮膚移植の生着に適した条件はどれか。**2つ選べ。**

a 感染した創
b 骨皮質の露出
c 真皮深層の残存
d 易出血性の肉芽
e 壊死組織の残存

24 急性中毒と治療薬の組合せで適切なものはどれか。

a アセトアミノフェン――――――――― エタノール
b ベンゾジアゼピン――――――――― フルマゼニル
c 有機リン――――――――― ナロキソン
d 麻　薬――――――――― N-アセチルシステイン
e メタノール――――――――― アトロピン

25 左心室に負荷が**かからない**疾患はどれか。

a 高血圧症
b 心室中隔欠損症
c 僧帽弁狭窄症
d 僧帽弁閉鎖不全症
e 大動脈弁閉鎖不全症

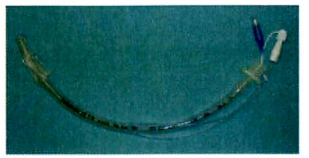
26 心静止の患者の心肺蘇生に**用いない**のはどれか。

a ①
b ②
c ③
d ④
e ⑤

①

②

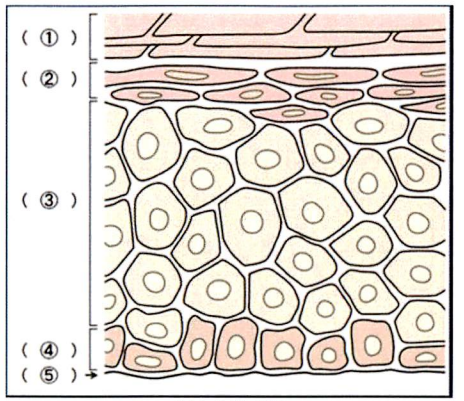
③

④


⑤

27 表皮の模式図を示す。正しいのはどれか。**3つ選べ。**

a ①の細胞では細胞内小器官が消失している。
b ②の細胞にはBirbeck顆粒が存在する。
c ③の層にはLangerhans細胞が存在する。
d ④の層にはメラノサイトが多く存在する。
e ⑤の領域にはデスモソームが存在する。



表皮の模式図

28 味覚に**関与しない**のはどれか。

a 舌神経
b 舌咽神経
c 舌下神経
d 顔面神経
e 鼓索神経

29 高齢者で低下するのはどれか。**2つ選べ。**

a 腎濃縮能
b 脳脊髄液圧
c 顔面表在感覚
d 高音域の聴力
e 心臓交感神経機能

30 正しいのはどれか。

a 横隔神経は中斜角筋の前を通る。

b 舌咽神経は茎突咽頭筋の前を通る。

c 迷走神経は肺根の前を通る。

d 尿管は精巣（卵巣）動脈の後ろを通る。

e 腎動脈は腎静脈の前を通る。

31 胃幽門腺の基底膜側の透過電子顕微鏡図である。
写真中央の細胞の機能に当てはまるのはどれか。

a 胃酸の分泌

b 胃内因子の分泌

c ペプシノーゲンの分泌

d 粘液の分泌

e ガストリンの分泌

電子顕微鏡図

32 正しいのはどれか。

a 伸張反射は単シナプス反射である。

b 無髄神経線維では跳躍伝導が起こる。

c 直径の太い神経線維ほど伝導速度が遅い。

d 神経筋接合部の伝達物質はドーパミンである。

e シナプスにおける興奮の伝達は両方向性である。

33 遺伝要因だけで原因を説明**できない**のはどれか。**２つ選べ。**

a 血友病

b 口唇口蓋裂

c 多指（趾）症

d ディ・ジョージ症候群

e シャルコー・マリー・トゥース病

34 生物濃縮を受けやすいのはどれか。

a パラコート

b ホルムアルデヒド

c メチル水銀

d クロロホルム

e トリクロロエチレン

35 近年さまざまな抗体が医薬として、臨床で使用されている。B細胞腫瘍や自己抗体産生B細胞の除去に使用される抗体が認識する表面抗原はどれか。

a CD8

b CD20

c CD43

d CD58

e CD154

36 **誤っている**組合せはどれか。

a ヨード欠乏――――――――――――甲状腺腫

b ビタミンA欠乏 ――――――――――夜盲症

c ビタミンB12欠乏 ――――――――――貧　血

d ナイアシン欠乏――――――――――高カルシウム血症

e ビタミンB1欠乏 ――――――――――Wernicke脳症

37 心電図QT延長がみられるのはどれか。**２つ選べ。**

a ジゴキシン

b ニトログリセリン

c ハロペリドール

d プロブコール

e プロプラノロール

38 がん検診について正しいのはどれか。

a 高齢者医療確保法に基づく。
b 特異度が低い検査を行ってはならない。
c 有病率が高いと陽性反応的中率は低い。
d 検査陽性者率の高い検診方法を選択する。
e 検査前確率と検査後確率の差が大きい検査ほど有用である。

39 医薬品・医療機器の使用により発生した有害事象について正しいのはどれか。

a 医師は死亡例についてのみ厚生労働大臣への報告義務がある。
b 遺伝子組み換え製品に由来することが疑われる感染症は5類感染症に分類される。
c 医薬品の安全対策は厚生労働省が所管し、医療機器の安全対策は経済産業省が所管する。
d 生物製剤の使用について有害事象がなくても製造業者は使用記録を保存する義務がある。
e 医薬品を適正使用したにもかかわらず発生した健康被害に対しては救済給付制度がある。

40 三次予防はどれか。

a 冷蔵庫の普及
b 中学生への性教育
c 小学生への禁煙教育
d 糖尿病患者の眼底検査
e 脳梗塞後の早期リハビリテーション

41 他の予防接種を受ける際に、4週間以上あけなければいけないのはどれか。**2つ選べ。**

a 麻疹ワクチン
b 風疹ワクチン
c 日本脳炎ワクチン
d DPT三種混合ワクチン
e インフルエンザワクチン

42 オピオイドの**副作用でない**のはどれか。

a 嘔　気
b 便　秘
c 掻痒感
d 尿　閉
e 頻　脈

43 38歳の2経妊1経産婦。身長155 cm、体重88 kg。3年前に3,720 gの児を帝王切開で出産している。妊娠18週の妊婦健康診査で、血圧128/78 mmHg、尿所見:蛋白(−)、糖3+、ケトン(−)であった。

次に行う検査はどれか。

a 眼底検査
b 胎児心拍陣痛図
c 糖負荷検査(75gOGTT)
d 下肢の血管超音波検査
e 24時間畜尿による糖排泄量測定

44 62歳の男性。閉塞性動脈硬化症(ASO)の治療目的で入院となった。入院当日、冷汗を伴う胸痛を認め、急性冠症候群と診断し緊急心臓カテーテル検査を施行した。

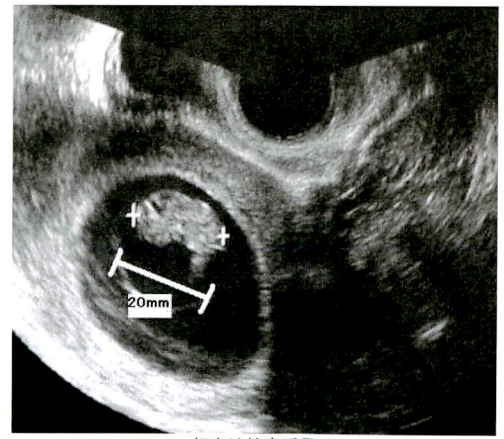
適切な穿刺部位はどこか。**2つ選べ。**

a 鎖骨下動脈
b 上腕動脈
c 大腿動脈
d 橈骨動脈
e 総頸動脈

45 18歳の女性。無月経のため来院した。月経初発は11歳で以後不順であり、最終月経の開始日は覚えていなかった。妊娠反応が陽性で、内診所見で子宮は鶏卵大で両側付属器は触知せず圧痛は認められなかった。経腟超音波検査で胎児を認め心拍動が確認できた。超音波検査所見を示す。

正しいのはどれか。

a 妊娠4週
b 妊娠6週
c 妊娠9週
d 妊娠12週
e 子宮外妊娠

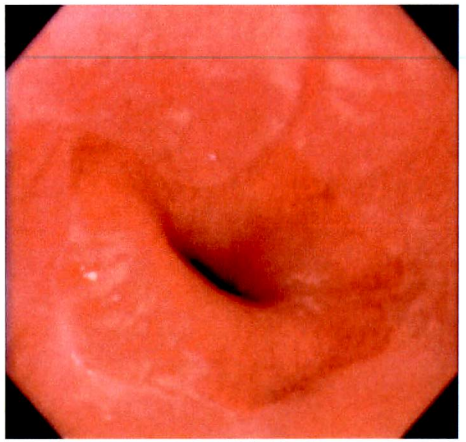


超音波検査所見

46 70歳の女性。胸やけ、げっぷ、胸痛を主訴に来院した。身体診察所見では異常を認めず。血液所見では軽度の貧血を認めるのみであった。血液生化学所見：総蛋白 7.0 g/dl、アルブミン 4.0 g/dl、LDH 270 IU/l（基準 176～353）、尿素窒素 16 mg/dl、クレアチニン 1.0 mg/dl。上部消化管内視鏡写真を示す。

診断はどれか。

a　食道癌
b　逆流性食道炎
c　食道アカラシア
d　Mallory-Weiss症候群
e　非びらん性胃食道逆流症



上部消化管内視鏡写真

47 60歳の男性。2週間前より労作時の呼吸困難を認めるようになり、下腿の浮腫、体重の増加も自覚するようになった。2日前より臥位にて睡眠をとることができなくなり来院した。来院時、意識は清明。体温 36.4 ℃。脈拍 124/分、整。血圧 104/72 mmHg。経皮的動脈血酸素飽和度(SpO_2) 88 %（room air）。

本症例の検査と所見の組合せで**誤っている**のはどれか。

a　血漿BNP値 ――――――――――――350 pg/ml
b　心電図検査――――――――――――wide QRS
c　心臓超音波検査――――――――――――左心室の拡大
d　胸部エックス線写真――――――――――――butterfly shadow
e　心臓カテーテル検査――――――――――――肺動脈楔入圧 10 mmHg

48 55歳の男性。直腸癌術後1年で腹膜播種をきたし再発。肝転移、肺転移もあり、積極的な根治治療はできない状況である。本人および家族に現在の病状を説明したところ、本人はできるだけ家で過ごしたいと希望した。家族は在宅で苦痛の緩和をはじめとした十分な医療やケアをうけられるのか心配と感じている。また、家で息を引き取ることになった場合のことも心配している。

正しいのはどれか。

a　在宅では静脈注射による疼痛緩和はできない。
b　現在日本における死亡場所は病院が3/4を占める。
c　日本人の多くは在宅での看取りは可能と考えている。
d　在宅で救急隊到着時死亡している場合は検死となる。
e　在宅看取りはグリーフケアにとって良い効果をもたらす。

49 52歳の男性。多発性骨髄腫（IgG, κ）と診断された。VAD療法3クール後、自己末梢血幹細胞移植を予定した。シクロホスファミド大量投与後の骨髄回復期に幹細胞を採取することになった。

採取の日を決定するのに最も有用な指標はどれか。

a　血清Ca値
b　血清LDH値
c　網赤血球率
d　好中球絶対数
e　CD34陽性細胞数

50 18歳の女性。体重減少と動悸を主訴に来院した。

既往歴、家族歴：特記事項なし。

生活歴：高校3年生。成績は良好。家族によると食欲は旺盛である。

1年前の健診では体重 52 kg。月経は順調。

身長 165 cm、体重 40 kg。体温 36.7 ℃。脈拍 90/分、整。血圧 128/50 mmHg。

意識清明、心音純、呼吸音清。甲状腺腫大あり、圧痛なし。

手指振戦あり。乳房の萎縮なし。多毛なし。下肢の浮腫なし。

WBC 8,000、Hb 12.8 g/dl、Plt 33 万、AST 46 IU/l、ALT 60 IU/l、ALP 566 IU/l、BUN 17 mg/dl、Cr 0.8 mg/dl、Na 134 mEq/l、K 4.0 mEq/l、Cl 100 mEq/l、空腹時血糖 90 mg/dl、Ca 9.7 mg/dl（基準 8.4-10.0）、P 4.5 mg/dl（基準 2.5-4.5）、TSH 0.08 μIU/ml（基準 0.27-4.20）、FT3 7.66 pg/ml（基準 2.30-4.00）、FT4 4.86 ng/dl（基準 1.00-1.80）、ACTH 15.0 pg/ml（基準 7.2-63.3）、成長ホルモン 1.64 ng/ml（基準 0.28-1.64）、プロラクチン 30.00 ng/ml（基準 6.12-30.54）、コルチゾール 14.9 μg/dl（基準 4.0-18.39）、TSH受容体抗体陽性。頸部超音波で甲状腺のびまん性腫大と両葉の血流増加を認めた。

考えられる疾患はどれか。

a　橋本病
b　バセドウ病
c　神経性食思不振症
d　汎下垂体機能低下症
e　偽性副甲状腺機能低下症

51 67歳の男性。高血圧に対し近医で利尿薬を処方されていた。家族の呼びかけに反応しないため救急車で搬送された。自発開眼しているが、名前と生年月日とが言えない。体温36.1℃。呼吸数18/分。脈拍90/分、整。血圧134/80 mmHg。心音と肺音は正常、下肢に浮腫を認めない。運動麻痺を認めない。尿所見：蛋白（−）、潜血（−）、浸透圧522 mOsm/*l*。血液所見：白血球9,000、赤血球400万、Hb 13.7 g/dl、血小板32万。血液生化学所見：アルブミン3.4 g/dl、尿素窒素14 mg/dl、クレアチニン1.1 mg/dl、尿酸6.9 mg/dl、Na 120 mEq/*l*、K 4.0 mEq/*l*、Cl 98 mEq/*l*、血糖144 mg/dl。甲状腺機能は正常。

投与するのはどれか。

a　3％食塩水
b　5％ブドウ糖液
c　アルブミン製剤
d　10％ブドウ糖液
e　0.9％生理食塩水

52 42歳の女性。夫婦喧嘩で夫に腹部を数回殴られて、その後に激しい腹痛を訴えたため救急車で来院した。意識は清明。顔面は蒼白、冷汗を伴い、腹部全体に強い圧痛と反跳痛を認める。

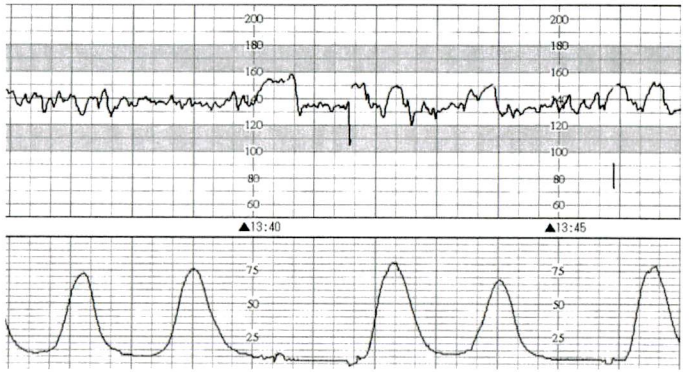
誤っているのはどれか。**2つ選べ**。

a　鎮痛薬を使用する。
b　CT検査で原因検索を行う。
c　腹部超音波検査は有用である。
d　直ちに末梢静脈路の確保を行う。
e　検査は行わず専門医へすぐに搬送する。

53 28歳の初産婦。妊娠41週0日に陣痛発来のため入院した。入院時の内診所見では破水を認めず先進部は児頭でSP-2、子宮口開大3cm、展退度40％、位置は中央で硬度は中であった。陣痛開始時から30時間が経過した。その時点の内診所見では羊水流出を認め、後頭部が先進し、小泉門を母体腹側に触知し矢状縫合は骨盤前後径に一致していた。SP＋1、子宮口開大8cm、展退度80％、位置は前方で硬度は軟であった。その時点の胎児心拍数陣痛図を示す。

正しいのはどれか。

a　微弱陣痛である。
b　分娩第2期である。
c　分娩が遷延している。
d　児頭の回旋異常を認める。
e　児頭骨盤不均衡が疑われる。



胎児心拍数陣痛図

54 8歳の男児。自宅の階段から転落したことを主訴に、深夜母親に連れられ救急外来を受診した。意識は清明で転落時の状況を本人に尋ねたが、医師と目を合わそうとせず、「よく分かりません」と小声で返答する。男児は非常に小柄で痩せており、表情に乏しい。左半身に打撲、頭部に皮下血腫が認められる他、腹部や上肢にも古い打撲痕が複数認められる。母親は明日の学校行事を理由に、応急処置が済んだら男児と共に帰宅したいと言っている。

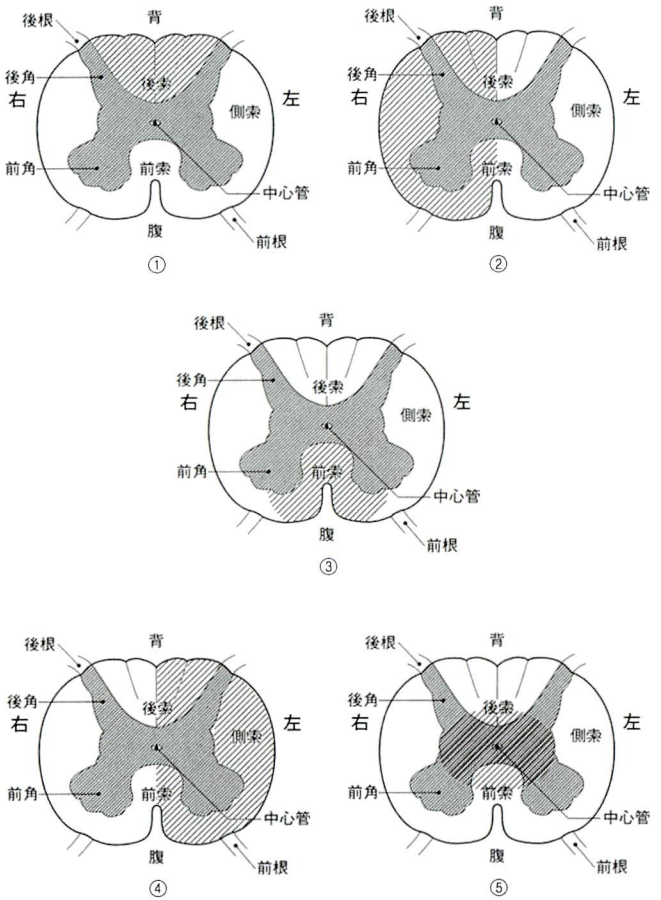
担当医の対応として適切なのはどれか。**2つ選べ**。

a　入院させ、警察へ通報する。
b　入院させ、患部の治療を行う。
c　入院させ、児童相談所に届け出る。
d　応急処置を施し、学校行事が済んでから再診するよう説明する。
e　明朝、外科外来を受診するよう説明する。

55　60歳の男性。両手のしびれと手指巧緻運動障害および歩行障害が出現し来院した。理学所見では、右側の第５頸髄髄節レベルの全感覚脱失と弛緩性麻痺を認め、第５頸髄髄節レベル以下で右側の深部感覚脱失と左側の温痛覚障害を認めた。第５頸髄レベルの脊髄横断図を示す。障害されている部位を斜線で示す。

正しいのはどれか。

a　①
b　②
c　③
d　④
e　⑤



第５頸髄レベルの脊髄横断図

56　37歳の男性。原子力発電所の作業員。原子力発電所内の事故により、全身被ばくし約４時間後に搬送された。推定被ばく線量は４Gyであった。

認められないのはどれか。

a　嘔　吐
b　発　熱
c　皮膚紅斑
d　意識障害
e　リンパ球数減少

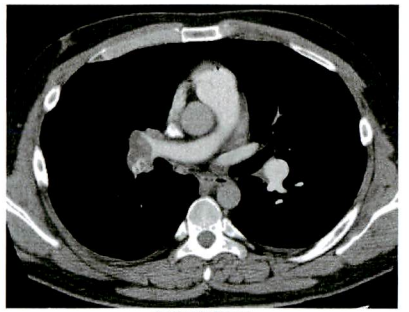
57　60歳の女性。高血圧で内服加療中である。朝からのめまいを主訴に、かかりつけの医師に電話で相談した。電話を受けた医師が、中枢神経性めまいを疑い、直ちに救急病院受診を指示する根拠となった症状はどれか。**２つ選べ。**

a　しゃべりにくい。
b　天井がぐるぐる回る。
c　唾液が飲み込みにくい。
d　頭を動かすとより悪化する。
e　耳がつまったような感じがする。

58　76歳の女性。変形性膝関節症に対して人工関節置換術施行。歩行リハビリテーション中に突然胸痛と呼吸困難が出現しICUへ搬送された。緊急造影CTを示す。

適応となる血管内治療はどれか。**２つ選べ。**

a　カテーテル的血栓破砕術
b　カテーテルアブレーション
c　下大静脈フィルター留置
d　経皮的冠動脈インターベンション
e　大動脈内ステントグラフト内挿術



緊急造影CT

緊急造影CT

59　45歳の男性、会社員。最近職場が変わり上司から叱責されることが多くなった。1週間ほど前から、朝出社しようとすると腹痛や嘔吐が続き家から出られなくなってしまったため、上司とともに精神科を受診した。

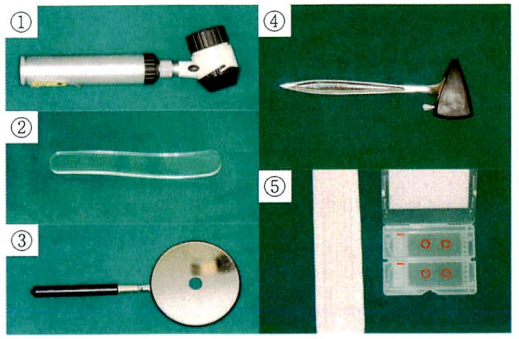
上司への助言として**不適切**なのはどれか。

a　すぐに自宅療養とする。
b　本人のミスの原因を探る。
c　以前の職場の情報を得るようアドバイスする。
d　職場のカウンセラーと相談することを勧める。
e　上司に本人の気持ちに寄り添うようアドバイスする。

60　9歳の男児。足底の黒子にて当科を受診した。

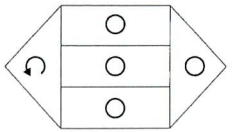
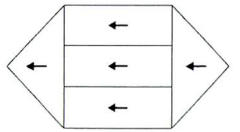
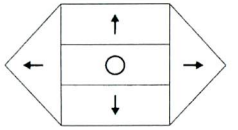
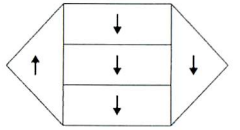
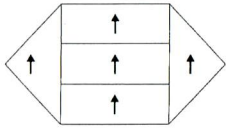
診断に有用な器具はどれか。

a　①
b　②
c　③
d　④
e　⑤



61　35歳の男性。7日前から感冒症状が持続していた。今朝、目が覚めたら天井が回っており、立ち上がると倒れそうになった。寝ていてもめまいが強く、吐き気があり、動けない状態になった。めまいは今回が初めてである。意識は清明。体温36.5℃。脈拍75/分、整。血圧135/85 mmHg。難聴はなく、眼振を認める。頭部MRIで異常を認めない。

この患者に見られる眼振はどれか。

a

b

c

d

e


62　25歳の研修医。B型肝炎ウイルスのワクチンは接種している。1時間前に採血に使用した針を左手に刺した。

自分の血液で調べるべき項目はどれか。

a　IgM HA抗体
b　HBs抗原
c　HBs抗体
d　HBc抗体
e　HBe抗原

63　55歳の女性。左乳房に2cm大の腫瘤を自覚して来院。乳房円状部分切除術を施行した。
術後におこなう治療で、適切なのはどれか。

a　全脳照射
b　網膜への照射
c　頸部への照射
d　残存乳房への照射
e　腹部大動脈リンパ節領域への照射

64　16歳の女子。11か月間で22 kgの体重減少があり、母親が心配して本人と来院した。本人はやせていると認識しておらず、自分は太っていると思っている。診察中の医師との会話は母親が行っている。身長165 cm、体重35 kg。
この患者に**認められない**のはどれか。**2つ選べ。**

a　徐　脈
b　無月経
c　知能低下
d　活動性亢進
e　恥毛の脱落

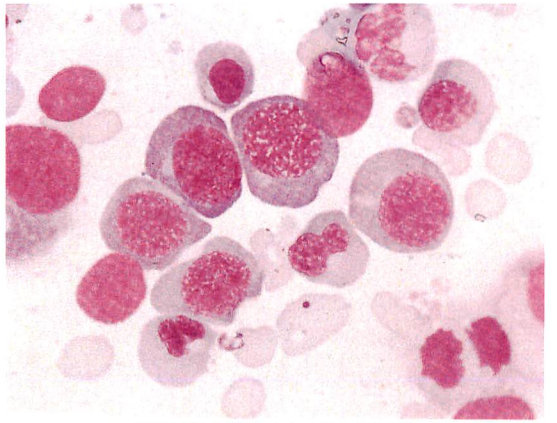
65　出生5時間後の新生児。在胎39週、1,850 g、Apgarスコア9点（1分）で出生した。
合併しやすいのはどれか。**2つ選べ。**

a　敗血症
b　低血糖症
c　動脈管開存症
d　低カルシウム血症
e　高ナトリウム血症

次の文を読み、66～68の問いに答えよ。

74歳の女性。2か月前に認知症疑いで受診歴がある。1か月前より味覚が低下し、食欲もなく、体重減少もみられた。家のなかでも転倒しやすいと家族は説明した。精査目的に紹介受診した。

検査所見：血液所見：赤血球138万、Hb 5.8 g/*dl*、Ht 17.5％、網赤血球0.8％、血小板8.5万、白血球3,000（好中球48％、好酸球2％、単球3％、リンパ球47％）。血液生化学所見：総蛋白7.2 g/*dl*、Alb 3.9 g/*dl*、AST 18 IU/*l*、ALT 16 IU/*l*、LDH 380 IU/*l*（基準140～220）、尿素窒素16.0 mg/*dl*、Cr 0.7 mg/*dl*。葉酸5.6 ng/m*l*（基準4.4～13.7）。免疫学的所見：CRP 0.1 mg/*dl*。原因精査のため、骨髄検査を施行した。骨髄液塗末標本を図（メイギムザ染色）に示す。



骨髄液塗末標本（メイギムザ染色）

66　予想される所見はどれか。**2つ選べ。**

a　胃液無酸
b　Ham試験陽性抗
c　内因子抗体陽性
d　直接クームス試験陽性
e　赤血球浸透圧抵抗性減弱

67　本患者の神経所見として**誤っている**のはどれか。

a　振動覚低下
b　温痛覚低下
c　Romberg徴候陽性
d　膝がい腱反射亢進
e　Babinski徴候陽性

68　適切な治療法はどれか。

a　鉄剤静注
b　抗癌化学療法
c　ビタミンB12筋注
d　シクロスポリン経口
e　プレドニゾロン経口

次の文を読み、69～71の問いに答えよ。

55歳の男性。主訴：両下腿浮腫

現病歴：２年前より健診で肝機能障害、蛋白尿、血尿を指摘されている。４か月前から下腿の浮腫を認め、体重も増加してきたため来院した。発熱、咽頭痛、関節痛、皮疹などは認めない。既往歴、家族歴には特記事項なし。

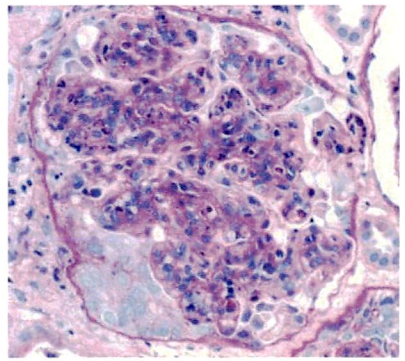
脈拍70／分。血圧120/70 mmHg。心音純、肺野清、腹部異常なし。背部叩打痛なし。

下腿浮腫あり。

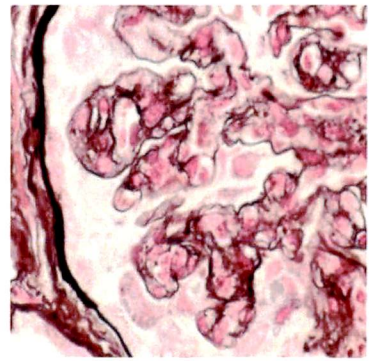
尿所見：蛋白３＋　蛋白定量3.5 g/日、潜血２＋、尿糖（－）、沈渣：赤血球15-20／１視野、変形赤血球＋、顆粒円柱＋。

血液生化学所見：総蛋白5.3 g/dl、アルブミン2.6 g/dl、尿素窒素30 mg/dl、クレアチニン1.5 mg/dl、総コレステロール270 mg/dl、総ビリルビン0.3 mg/dl、AST 50 IU/l、ALT 60 IU/l、Na 138 mEq/l、K 5.0 mEq/l、Cl 96 mEq/l、Ca 9.0 mg/dl、血糖92 mg/dl。血清補体価（CH 50）8 U/ml（28-48 U/ml）、抗核抗体（－）

本例の腎生検所見（PAS染色、PAM染色）を示す。



PAS染色 400倍



PAM染色 800倍

69 診断はどれか。

a IgA腎症
b 膜性腎症
c 急性糸球体腎炎
d 微小変化群
e 膜性増殖性糸球体腎炎

70 考えられる検査所見はどれか。

a 血清IgA高値
b クリオグロブリン陽性
c 抗カルジオリピン抗体陽性
d 抗好中球細胞質抗体（ANCA）陽性
e 抗ストレプトリジンO（ASLO）高値

71 合併疾患として考えられるのはどれか。

a 悪性腫瘍
b C型肝炎
c 梅毒感染
d 急性扁桃炎
e 全身性エリテマトーデス

次の文を読み、72～74の問いに答えよ。

25歳の女性。咳嗽と体重減少を主訴に受診した。

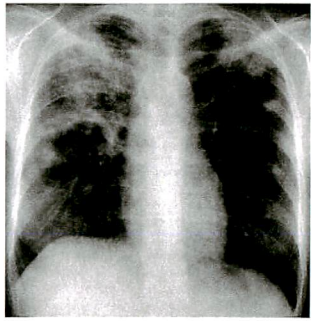
現病歴：1か月前から咳嗽と微熱があり、他院で抗菌薬を投与されたが、改善はみられなかった。その後も咳嗽が持続するうえ、体重が意図せず5kg減少し、盗汗も伴うようになってきたため、来院した。

家族歴・既往歴：特になし。

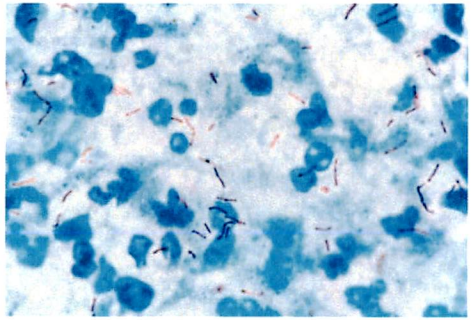
生活歴：喫煙15本/日×7年。飲酒 缶チューハイ500 mL/日。事務職。

現　症：身長158 cm、体重42 kg。体温37.5℃。呼吸数18/分。脈拍88/分。血圧98/60 mmHg。頭頸部に明らかな異常を認めない。心音 純。呼吸音 清。肝脾腫なし。浮腫なし。その他の診察所見に異常を認めない。

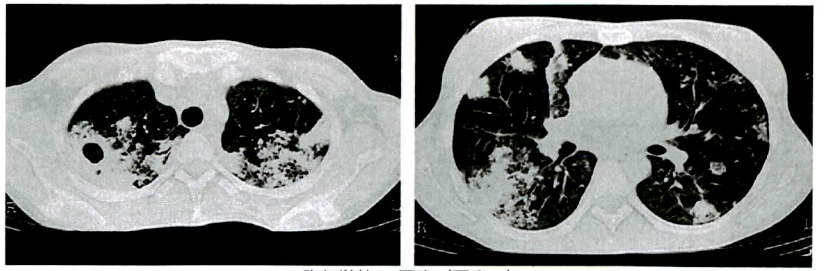
検査所見：白血球8,700、Hb 11.4 g/dl、MCV 85 fL、血小板14.5万。総蛋白6.6 g/dl、アルブミン3.3 g/dl、AST 42 IU/l、ALT 26 IU/l、LD 350 IU/l（基準176～353）、CRP 3.4 mg/dl。胸部エックス線写真（写真1）、胸部単純CT写真（写真2）、喀痰染色像（写真3）を示す。喀痰検査で*Mycobacterium tuberculosis*が検出された。



胸部エックス線写真（写真1）



喀痰染色像（写真3）



胸部単純CT写真（写真2）

72 写真３の染色法はどれか。

a　Congo-Red 染色

b　Gram 染色

c　Hematoxylin-Eosin 染色

d　May-Giemsa 染色

e　Ziehl-Neelsen 染色

73 この患者にまず投与すべき抗菌薬として**不適切**なのはどれか。

a　イソニアジド

b　エタンブトール

c　ピラジナミド

d　リファンピシン

e　レボフロキサシン

74 正しいのはどれか。**２つ選べ。**

a　全額が公費診療となる。

b　患者を直ちに隔離する。

c　身体障害者給付の対象となる。

d　24 時間以内に都道府県知事に届け出る。

e　濃厚接触者に対する検査は自由診療となる。